

第 66 号



発行所

大阪市史跡 霊亀山 九島院
龍溪禪師墓所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第廿五代住職 奥田 啓知 (智證)

本年は、黄檗宗大本山萬福寺開創三三〇年記念の年です。

被災者を傷つける『がんばれ!』という言葉

被災者の為に本気で頑張る決意が必要

東日本大震災で被災された皆様、大切な家族や友人を亡くされた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

自衛隊や全国の自治体職員、多くの民間ボランティアや著名なスターやアイドルの方々が、被災地に入り、連日支援活動を続けておられます。

震災のあった当初、AC(公共広告機構)のCMなどで「がんばれ日本!」「前を向こう!」といったメッセージが繰り返し流されてきました。そうした「がんばれ」という言葉は、はたして被災者の方々を励ますことになっているのでしょうか。

人を励ます時、「どうか、がんばってください」と言ってしまう。老若男女に関わらず、何か言おうとつい「がんばれ、がんばれ」と言います。

この「がんばれ」という言葉英語に訳すと「DO YOUR BEST」で、あなたができるベストを尽くせばいいのであり、それ以上のものを求めているわけではありません。

ところが、日本人が「がんばれ!」と言う時には、必ずその上に「もつと」という言葉がついてきます。日本語の「がんばれ!」は、すでに最善を尽くしている人に向かつて、もつと頑張らないといけないと鞭打っているのです。

人間にはどうしてもベストを尽くせない状態になったり、スランプに陥る事もあります。「もつとがんばれ、もつと努力しろ」と言われてもどうしようもありません。非常に酷な話です。

今回の被災者も、地震と大津波によってすべて失ってしまわれ、菅首相の「全ての被災者が益までに仮設住宅に入居してもらおう」との声明が虚しく聞こえるなか、さらに原発事故によって故郷に帰れない方々にとつてどう頑張ればいいのか。

では、どのように被災者の方々に励め励ましたらいいのでしょうか。

仏教では、「精進(しょうじん)」という言葉があります。「精進」



とは努力の意味ですが、努力しようにもどうにもならない状況に置かれている被災者の方々にとつて、問題の解決はむしろ、他者の行為によるのです。阪神淡路大震災や中越地震の時は「がんばれ神戸」「がんばれ新潟」ではなく、「がんばろう神戸」「がんばろう新潟」というキャンペーンでした。「がんばる」のは、支援する我々に本気でがんばる決意が必要なのです。そういった意味で、「何かお役に立てることはありませんか。私たちが何とかしますから。あなたが生きているだけで十分です。先のことは考えずとりあえず今日を生きてください。あせらずに、ゆったり精進なさって下さい、何とかしますから。」と、お声をかければいいのではないのでしょうか。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

波濤の夢

(龍溪禪師一代記) その七

龍溪と隠元禪師

普門寺・隠元全集二六〇五によれば、隠元が普門寺に入寺した一週間後、明暦元年(一六五五)九月二十一日には、龍溪は隠元を近隣の西原の慶瑞古蹟に案内し、中興の志を述べた。この慶瑞古蹟は後に復興された。九島院の本寺にあたる。

同日、板倉周防守右少将重宗(一五六一)が初めて普門寺を訪れた。『普照国師年譜』によれば「謙恭、致重にして、相見えるをの晩きを恨んだ」とある。

当時、京都所司代は牧野佐渡守親成が補されていたが、笠印とも昵懇で、隠元の普門寺招請にも好意をつけた板倉重宗も補佐して京都に在留していた。

龍溪もかつて紫衣事件の際、妙心寺の伯蒲慧縁の弟子琢首座であり、板倉重宗とは旧知の間柄であり、大檀越として寺主の龍溪らと共に隠元を、普門寺に招請し、禿翁・笠印らと祝国開堂(祝聖開堂などともいう)天子の聖寿無窮と国家の平和を祝福する儀式をとまなう開堂を請い、十一月四日に開堂が行われた。

普門寺晋山当初、隠元は中国の間諜ではないかと幕府から疑われ、始

当院は、阪神ならば線で

なんばから7分です。

めのつちは何らの自由も与えられず、一般俗僧の参見も禁じられていた。十月十二日、隠元は板倉重宗の訪問を受け、渡来の事由を問われ、「也嫌首座の渡来がならず、長崎から再三の懇請によって来朝した」と答えた。

十九日には再度の訪問を受け、設斎茶話をした。茶話は和やかなうちに行われ、重宗は隠元より『独眞性空』という法名を授かっている。このようにして疑いも徐々に薄れ、俗僧が少数者ずつならば、隠元に参見してもよいという許可が下りた。これには、笠印の奔走も関係していたが、隠元に対しては、幕府もかなり慎重な態度をとっていた。

十一月八日、老中阿部豊後守忠秋・松平伊豆守信綱・酒井讃岐守忠勝・酒井雅楽守忠清連署で、板倉重宗・京都所司代牧野親成の兩人に宛てて書簡を送り、「重宗の訪寺以後少数者ずつ隠元に参見しても苦しくないように申し渡したそうだが、今のは多数にならぬようにせられたい。ぜひとも隠元に会う必要のある者は格別だが、とかく多くの者が入り込んで、隠元のためによくない。

その点考慮し、高槻城主永井日向守直清・代官小堀仁右衛門正春に時分を見計らって見廻るように申し付けられた」と注意を与えている。

ところが、隠元を拜することができると伝え聞き、十一月二十八日には、折からの親鸞聖人の祥月命日で、普門寺近くの一向宗寺院に参詣した数千人の群集が、制止も聞かずに普門寺に入り込み、そのため笠印は重宗に呼び出されて大いに叱責され弁解せざるをえなかつたと、『黄檗外記』には記す。

隠元は、普門寺に晋山したが、本国に帰る気持ちを忘れたわけではなかつた。翌明暦二年(一六五六)は、隠元東渡二年、いよいよ隠元が中国黄檗山の僧衆・諸檀越に帰山を約束した年。一時帰国していた無上性尊が四月に再来して黄檗山の僧や信者たちの隠元帰国を促す書簡を持参した。それらはすべて、三年の約束を守り隠元に帰国を促すものであった。折から江戸から帰寺した龍溪に懇留され、帰国を思い止められた。

龍溪55歳、この時より龍溪の江戸下向が始っていた。隠元を普門寺に留め置くことを幕府に懇請するためであった。その結果、幕府は五月三日付けの覚書を下してこれを許可したが、前年七月九日に隠元を追うようにして長崎に来航した木庵性滔の普門寺への来寺は、許可されなかつた。木庵は隠元渡来前の嗣法者(法の跡継ぎ)である。

龍溪は帰郷の念を募らせる隠元を引き留める為に、5月21日西来亭を建立し、また禅堂の建立を求め同覚書で許可された。

七月二十六日、幕府は再び普門寺に覚書を下し、厳しい制約のもとではあるが、隠元にいくばくかの自由を与えた。京都・奈良・大坂・大津・堺の五箇所に、隠元が10日・20日ほど在留で出掛けてもよいが、龍溪・禿翁・笠印の内誰か一人付き添うこと。それ以外の地へは寺社奉行に伺いを立て指図を受けること。普門寺に集まる日本僧は二百人に限ること。俗人の隠元への参謁は、

龍溪・禿翁・笠印の三人協議の上、信心ある者に限ること。以上三ヵ条が通達された(慶瑞文書)

十月には、禿翁・笠印の二人に招かれて、初めて京都に上り、妙心寺・南禅寺・東福寺などを巡歴し、笠印が開創した龍華院に三宿した。隠元を懇留する為、龍溪はその後幾度も江戸往復し幕府に画策する。



普門寺 仏殿に掲げられた 隠元書の額『獅林』



檀信徒の皆さまへ

本年は、黄檗宗大本山萬福寺開創三五〇年記念の年です。

駐車場新設

龍燈会館の隣家の建物と土地を購入しました。31坪の敷地に1台分の駐車場と3階建ての積水ハウスがあります。

昨今の厳しい駐車違反取締りで、境内駐車スペースに限りがあり、墓参や参詣に来院される方々が、違反切符を切られたり、レッカー移動され、憂慮しておられました。たまたま、隣家の購入の話が持ち上がり購入した次第です。

当該土地は戦前、当院の境外地でそこに借家を持っていましたが、昭和25年に本堂再建費用の一部として売却したものです。今春、先代弘忠和尚十七回忌を厳修したおり、霊前に報告しました。先々代榮忠和尚と弘忠和尚が、泣く泣く手放した寺有地が戻ってきました。こんな嬉しいことはありません。

5月29日に建物の撤去工事に着手し、約1ヶ月の工期で、来院者の無料駐車場にします。今夏のお盆の墓参には間に合うかと存じますので、ご利用下さい。尚、乗用車5台が駐車可能です。

第17回修養会

11月5日です。(別紙参照)

東日本大震災義援金

今春彼岸にご協力いただいた『東日本大震災義援金』は、六萬千参百参拾八円になりました。日本赤十字社に4月12日に振り込みました。引き続き、募金活動は続けていきますので、ご協力をお願いします。

開創350年記念行事延期

東日本大震災の被害甚大に鑑み、4月に予定されていた黄檗宗大本山萬福寺開創350年記念開連の法要は左記の通り延期されました。

- 10/21 (金) 授戒会 午前・午後 申込締切 9月末日
- 10/22 (土) 10:30 松隠堂修復落慶法要
- 11:30 萬福寺開創350年記念法要

九州国立博物館での『黄檗展』は好評のうちに5万人の入場者を集め終了しました。秋には、難波高島屋で読売新聞社主催で『黄檗展』が開催予定です。

行事報告

- 3/26 … 写経会(参加者14名)
- 3/27 … 先代十七回忌並びに先代坊守一周忌法要を厳修致しました。
- 4/2 … 花まつり YOGA(参加者26名)

行事案内

- 地藏盆子ども会
開催日 8月22日(月) 14時
多くの子ども達にご来院いただき楽しいひと時を過ごしましょう。
- 写経会
開催日 10月1日(土) 15時
五回目の開催です。どなた様でもご参加可能です。
- お寺deヨガ
開催日 10月2日(日) 14時
三回目の開催です。老若男女問わず、どなた様でもご参加OK。初心者向きです。本堂で寝転がってみませんか?
- お寺deフラワーアレンジメント
開催日 11月26日(土) 14時
初めての開催となります。新たな取り組みです。老若男女問わず、どなた様でもご参加OK。材料費込みの参加料二千円。

永代供養墓

(大亀地藏尊)
お墓を建ててもいずれば無縁になるから、とのお考えの方の相談を受けてきた永代供養合祀墓です。

継承者がいなくても安心無縁になる心配がないお寺が続く限り供養される永代位牌が位牌堂に祀れる彼岸・お盆には大勢の僧侶での回向がなされる
ご遺骨は大亀地藏尊の蓮台下で土に還るように埋葬される

永代供養だけの方も大丈夫生前に依頼もできる
維持管理料は不要
永代志納金 一霊二十万円
永代位牌は一種類
宗旨・宗派は問いません
お墓を整理して合祀される方もおられます
新規境内墓地(西区で当院だけ)も募集しています。
お問い合わせ下さい。



詳しくは、当院ホームページをご覧ください。 <http://www.kyutouin.or.jp>

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

奉納便り

金参拾萬円御寄進（平成廿三年一月二十四日）
小林陽子 様よりご主人故潤伍様ののご冥福を
祈り、金参拾萬円が寄進されました。お寺の
為に有意義に使わせていただきます。誠に有
難うございました。

編集後記

今年の入梅は平年より12日も早く史上二番
目だそうです。東日本大震災の惨状が今だに

癒えない5月には台風まで上陸し被害を与え
ました。

「天災は忘れた頃にやってくる」とは昔の話
で「毎日天災がやって来る」と覚悟しなければ
ならないご時世です。

三百四十一年前には台風による大津波が大
坂を襲いました。枚方あたりまで浸水したそ
うで、当院開山龍溪禪師が水定死されました。
『波濤の夢』（拙紙連載中）で後日詳しく書き
ます。

木津川に架かる大正橋東北詰に『大地震両

川津波記』という石碑があります。安政大地
震（1854）での津波被害を詳細に記し、「百五
十年前も宝永大地震による津波でも多数の
死者が出たが、年を経て伝え聞く者も少なく
なり再び多くの犠牲者が出た。地震が発生し
たら津波が起こると心得て舟に乗るな」と警
告しています。そして、最後に毎年文字が読
みやすいように墨入れをせよと結んでいます。
私たちは先人の遺した貴重な教えを風化さ
せないで、防災意識をより一層高めていかね
ばなりません。

ツラを棄てて街に出よ

川柳相合傘の例会で、「悩む」という課題が出ました。小生
の句は「言うべきか 言わざるべきか 空(から)の布施」でした
が、偶然同じ発想の句が出て負けてしまいました。「言うべき
か 言わざるべきか ツラのずれ」

福島原発事故で記者会見している、原子力安全保安院の西
山審議官がカツラをしている為か、保安院の隠蔽体質を「カツ
ラ疑惑」と絡ませて、インターネット上に書き込みが多く出て
います。件の作者も保安院の記者会見を見て創作したのだそ
うです。

そういえば、イギリス王室のチャールズ皇太子とケイト・ミ
ドルトンさんとのロイヤルウエディング。パレードでの皇太
子の頭髮が少々薄く、俗に言う若ハゲだったのには驚きまし
た。ロイヤルウエディングはアメリカでも大騒ぎだったよう
ですが、髪の毛のことについては全く話題にならなかったそ
うです。

欧米諸国はハゲには寛容的で、むしろ男性的でセクシーとい
う感覚があるようで、ハゲを恥とと思っているのは日本人だけ
なのかもしれません。

世界的な皮膚医学の権威、ドイツのホフマン博士は、神経系
統の中心である脳髄が発達するほど頭髮は微弱になる。頭を
使うほど人間はハゲる。ことに近来、文明社会の高度の発達
は益々それに拍車をかけ、やがて人類は無毛の時代にはいる
であろうと予言しています。

情報化社会、神経を使う人間が激増している今日、日本でも
程度の差こそあれ日本人の人口の1割、一千万人がハゲてい
るそうで、しかも年々30%ぐらいは確実に増えていると、あ
る男性カツラメーカーが話していました。

剃髪している小生から言えば、高
価なカツラを買うぐらいなら、カミ
ングアウトして、心のカツラを脱ぎ
ましょう。「ツラを棄てて街に出よ！」
と言いたい。それでこそ、安上がり
で精神的に開放されますよ。



水灯会(お施餓鬼法要)

8月19日(金)午後1時半より
ご先祖供養です。宗旨に関係ありません。
ご回向お申込み下さい。法話:住職

大亀地蔵尊盆

8月23日(火)午後7時半より
大亀地蔵尊盆埋葬者供養の法要

ご案内

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで直通電車が走っています！

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。